

津軽広域連合だより

平成21年12月 Vol.30

tsugarukoikirengo

DAYORI

ふるさと 探訪バスツアー

写真上：Bコース田舎館村埋蔵文化財センター『弥生時代の水田跡』
写真下：Cコース津軽伝承工芸館『津軽塗箸の制作体験』



9月6日（日）、116名の圏域住民に参加いただき、ふるさと探訪バスツアーを実施しました。今年は、昨年までのA・B2コースにあらたに体験学習を盛り込んだCコースを加えて全3コースによる実施となりました。

各コースのバスは弘前市役所を午前9時に同時出発し、うちCコースの一行は、まず田舎館村の**田んぼアート**“戦国武将とナポレオン”を見学しました。今年の絵柄は例年にも増して精細な描写となっており、参加者は感心した様子で“天守閣（同村役場庁舎）”からの眺めを楽しんでいました。

続いて、**津軽塗箸の制作体験**を実施する津軽伝承工芸館（黒石市）へ移動しました。はじめに講師から津軽塗の歴史や技法、製品の構造などについて説明を受けた後、早速作業開始となりました。作業の手順は、あらかじめ塗りか施された箸をやすりで研いで津軽塗特有の文様が出るまで磨き、ニスで仕上げるというものです。参加者からは「研ぎすぎて下地が見えてきてしまった。難しい。」などの声も聞かれましたが、終始和気あいあいとした雰囲気の中で隣り同士が笑顔で会話している姿も多く見られ、ツアーの目的の一つである圏域住民の交流が深められている様子がうかがわれました。

昼食をはさみ、午後には平川市の**金屋地区農家蔵群**を訪れました。ここは由緒正しい農家蔵の白い外壁と、見事に手入れが施された庭園・生垣の緑との絶妙なコントラストにより、非常に美しい景観が形成されているところです。また、実際に蔵の中に入ると、そこには昔ながらの農器具がそのまま保管されており、参加者らは皆懐かしんでいました。

Cコース最後の訪問地となった大鰐町の**大円寺**は、「大日様」と呼ばれる国指定重要文化財の本尊が安置され、篤い信仰を集めているところです。ここでは奈良時代にまでさかのぼる寺にまつわる伝説が住職から語られた後、同寺の客間内にある、大鰐町出身の画家水木信一氏によって描かれた襖絵（ふすまえ）を鑑賞しました※。参加者は、その襖絵の見事な出来栄に口々に感嘆の声をあげつつ、帰りのバスに乗り込み、今回のツアーは終了となりました。

※今回特別に許可をいただいたものであり、通常一般公開はしていません。

次のページにもバスツアー関連記事があります

ふるさと探訪 バスツアー2009 参加者の感想

ツアー終了後、参加者全員を対象としたアンケートを実施し、各訪問地について感想・意見を頂戴しました。各地とも称賛の声がたくさん寄せられており、まさに津軽の魅力満載の有意義なツアーとなったようです。

ここでそのアンケートの内容の一部をご紹介しますので、これを参考にぜひ皆様も一度足を運んでみてください。意外な発見があること間違いなしです！

A コース



広泰寺(西目屋村)

「ガイドの説明が詳しく、大変よかったです。そして齊藤主という人を初めて知り、昔の人は自分に執着せず偉大だと思った。津軽には知られざる偉人が多いのかなあー。」



白神山地ビクターセンター(西目屋村)

「自分でも動いている様で迫力がすごかった。」
「大型映像を見て、この大自然をなるべくこのまま残せていけたらと思いました。」



砂川学習館(西目屋村)

「昔の生活様式、器具などの展示品で子どもの頃が懐かしく思い出されました。過ぎて行った過去の様子がここにあり、いつまでも残っていてほしいと思いました。」



高照神社(弘前市)

「過去に2度立ち寄ったが、ただ見ただけ。今回ガイドの説明で其の価値にビックリ。大半の住民は知らないのではなからうか。最高！」

B コース



常盤ふるさと資料館あすか(藤崎町)

「近くに住んでいながらなかなか見る機会がなかった。高木志朗さんの絵と、ステンドグラス(特別展)は大変よかったです。」



中町こみせ通り(黒石市)

「初めて聴くナマ津軽三味線の迫力にはビックリ。ず〜っと前から、一度は行ってみたい所でした。とても良い雰囲気です。三味線の方の解説もわかり易く、楽しめました。」



工藤忠生家『皇帝の森』(板柳町)

「ラストエンペラーの映画を見たけれど、県内の人が関係しているとは全然知らず、びっくりしました。」



埋蔵文化財センター・博物館(田舎館村)

「実はあまり期待していなかったが、その予想は完全に外された。田澤茂氏の作品は迫力ある力作ぞろいで素晴らしく、古農具等の展示も整然として気持ちよく見学できた。」

C コース



田んぼアート(田舎館村)

「まさにアートですね。遠近法を用い、古代と現代のコメの品種を使って色鮮やかな作品をつくりあげるさまは神業に等しいです。『戦国武将…』の選択も最高です。」



津軽伝承工芸館(黒石市) 【津軽塗製作体験】

「伝統工芸“津軽塗”を体験出来た事に喜びで感激しております。出来たお箸は、私の手作りの宝物として人形ケースに飾っておきます。」



金屋地区農家蔵群(平川市)

「都会ではめったに見られない白い立派な蔵の立ち並ぶきれいな町、立派なお庭、きれいにカットされた生け垣、ここに降立つと何故かほっとします。何度お訪(と)いても飽きない私の大好きな町です。」



大円寺(大鰐町)

「阿弥陀如来を御本尊として信仰を集めている由緒ある大円寺は、巖かの一言に尽きます。住職様もつややかで如来様のようにした。襖絵もすばらしかったです。」

津軽の特産品PR

～ハイウェイコミュニケーションin東北 2009

津軽広域連合では8月22日・23日の2日間、仙台市勾当台公園市民広場で開催された「ハイウェイコミュニケーションin東北 2009」（東日本高速道路(株)主催）に参加し、物産販売及び観光パンフレット配布を通じた津軽地域のPR活動を実施しました。

東北6県の食・観光・郷土芸能などが一堂に集められるこのイベントに、今年は板柳観光物産協会、津軽みらい農協女性部田舎館加工部会、目屋観光協会がともに参加し、それぞれ地元の名物・名産品を販売しました。➔



ステージイベント参加の五所川原立俣武多囃子が応援に駆け付け一段と盛り上がる青森県ブース

➔ 当日は気温が高かったこともあって、いずれの団体もりんごジュースの売れ行きが好調であったほか、板柳の銘菓・田舎館の漬物・西目屋の山菜加工品などの特産品に対する反応もよく、まずまずの手ごたえを感じていたようです。

なお、平成19年度から実施してきた本事業については、当初予定の事業期間（3年）の満了をもって、今年で終了することとしています。

議会の動き

第1回臨時会・第2回定例会

平成21年第1回津軽広域連合議会臨時会

平成21年第1回臨時会が8月4日に弘前地区環境整備センターで開催されました。

会議では不在・欠員となっていた3人事案件について決定され、議長に工藤良憲議員（弘前市）が指名推選で選出されたほか、議会運営委員（定数6名）に鶴ヶ谷慶市議員（弘前市）、議会選出の監査委員に佐藤哲議員（弘前市）が選任されました。



工藤良憲議長

また、派遣先を東濃西部広域行政事務組合及び中濃地域広域行政事務組合（ともに岐阜県）とする議員派遣第1号についても原案どおり可決されました。

（10月6～7日派遣実施済）

平成21年第2回津軽広域連合議会定例会

平成21年第1回定例会が11月25日に弘前地区環境整備センターで開催され、平成21年度一般会計補正予算（第1号）、平成20年度一般会計歳入歳出決算、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が、原案通り可決・認定されました。

平成21年度補正予算（第1号）は、職員人事異動、給与改定、並びに平成21年度障害者自立支援給付費等国庫補助金の交付などにより歳入歳出それぞれ100万4千円を追加し、予算総額を1億7,742万2千円とするものです。平成20年度決算は、歳入が1億8,269万1,960円、歳出が1億7,338万5,921円で、差引残額930万6,039円は財政調整基金へ全額積立しております。職員給与条

○平成20年度歳入歳出決算（千円、%）

		科目	決算額	構成比
歳入	目的別	分担金及び負担金	161,630	88.5
		財産収入	7,344	4.0
		繰入金	10,379	5.7
		諸収入	1,093	0.6
		国庫支出金	1,488	0.8
		県支出金	758	0.4
		計	182,692	100.0
歳出	目的別	議会費	714	0.4
		総務費	54,917	31.7
		民生費	108,923	62.8
		基金積立金	8,832	5.1
		計	173,386	100.0
	性質別	人件費	147,284	84.9
		物件費	13,872	8.0
		補助費等	3,398	2.0
		積立金	8,832	5.1
		計	173,386	100.0

津軽広域連合の財政状況
（平成21年9月30日現在）

○平成21年度歳入歳出予算執行状況（千円、%）

		科目	予算現額	執行済額	執行率		
歳入	目的別	分担金及び負担金	157,142	86,137	54.8		
		財産収入	7,235	0	0.0		
		繰入金	14,031	0	0.0		
		諸収入	18	114	633.3		
		計	178,426	86,251	48.3		
		歳出	目的別	議会費	3,577	358	10.0
				総務費	57,172	24,740	43.3
民生費	109,926			48,893	44.5		
基金積立金	7,235			0	0.0		
公債費	66			0	0.0		
性質別	予備費		450	0	0.0		
	計		178,426	73,991	41.5		
	人件費		151,151	68,070	45.0		
	物件費		15,089	4,412	29.2		
	補助費等		4,435	1,509	34.0		
公債費	公債費	66	0	0.0			
	積立金	7,235	0	0.0			
	その他	450	0	0.0			
	計	178,426	73,991	41.5			

○財産の現在高

基金	ふるさと市町村圏基金	960,988 千円
	財政調整基金（総務分）	12,904 千円
	財政調整基金（介護分）	9,140 千円
	財政調整基金（障害分）	3,368 千円
	計	986,400 千円
物品	自動車	1 台
	介護認定オンラインシステム	1 式
	公共施設予約システム	1 式

○地方債の現在高

○一時借入金の現在高 0 千円

例の一部改正は、青森県人事委員会勧告に準じ、若年層を除き、給料月額を平均0.2%程度引き下げるものです。

とっておきの津軽大賞コンテスト'09 作品募集中!

↓ '08 写真部門最優秀賞
佐藤徳勇さん(黒石市)の『湯治宿暮色』

津軽広域連合では、私達の住む「ふるさと津軽」の素晴らしさについて相互に理解を深め、人々に伝えていくことを目的として、「とっておきの津軽大賞コンテスト」を開催します。皆さんとどしどしご応募ください!

- 募集ジャンル ①写真 ②川柳
- 作品テーマ 「ふるさと再発見」
地域の自然、祭り、伝統、史跡、風習、日常の風景など、皆さんが人々に伝えたい「ふるさと津軽」の姿を作品にして応募してください。
- 応募資格 津軽広域連合構成市町村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)在住の方(年齢・経験等は問いません。)



- 賞(各ジャンルごとに選出)
最優秀賞(1作品) 賞状、商品券3万円
優 秀 賞(2作品) 賞状、商品券2万円
入 選(8作品) 賞状、商品券1万円
さらに入賞者全員へ「市町村特産品詰め合わせセット」をプレゼント!
- 応募締切 平成22年1月15日(金)
※当日消印有効

今年11月、昨年度の入賞作品(写真・川柳とも11点ずつ)の展示を津軽広域連合の関係各市町村の8公共施設等を巡回して実施しました。展示中には「日頃身近に接しているものが、どれも見事な芸術・文化作品に仕上がっていて大変素晴らしい。」と話している方もいらっしゃいました。展示はすでに終了しましたが、昨年度入賞作品については現在も津軽広域連合ホームページに掲載中ですので、皆様ぜひ一度ご覧ください。



旅人の
胸もじゃわめぐ
津軽三味

← '08 川柳部門最優秀賞
寺田北城さん(弘前市)の作品

※応募に係る諸条件・注意事項については、各市町村広報紙(11月発刊号)、公共施設やスーパー等へ備え付けのチラシ・ポスター、または津軽広域連合ホームページなどでご確認ください。不明な点がありましたら電話(39-7200)にてお気軽にお問い合わせください。たくさんのご応募お待ちしております。



“親子でヨーガ”
津軽の名人・達人バンク
講師派遣事業

みどり保育園(弘前市)において9月29日、名人・達人バンク登録者の下山明子さん(登録No.78)を講師に迎え、育児講座『親子でヨーガ』が行われました。これは、弘前市内の地域子育て支援センターの共催により、日頃の子育てでたままった疲れ・ストレスを親子一緒に楽しく心身ともに解消することを目的として実施されたもので、当日は1歳半~3歳の幼児とその保護者ら約60名が参加しました。およそ1時間にわたるヨーガのストレッチ運動やバランス運動が終わったあと、参加者からは「体が軽くなった気がする。リフレッシュできた。」と、とても満足した様子でした。当広域連合では名人・達人バンク講師派遣事業の申請を、本年度内においてもまだまだ受付中です。どうぞお気軽にお申し込みください。